

ナベヅル

Grus monacha Temminck

ツル目
GRUIFORMES
ツル科
Gruidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁

選定理由

県内分布

開けた耕地，湿地，河原などに，希に一時的に立ち寄るのみ。

分布域

定期的な生息地は鹿児島県出水に約7,000羽，山口県熊毛町八代に約60羽冬鳥として飛来するのみで，その他の地域は渡りの途中に立ち寄るだけ。
アムール川流域，シベリアで繁殖し，鹿児島県出水と揚子江流域で越冬する。

生息環境

開けた耕地，湿地，河原などで越冬する。落穂，草の実，ドジョウ，タニシなどを食べる。

現 状

鹿児島県出水と山口県熊毛町八代，この2か所以外には定期的な越冬地がない。県内では，宇佐，佐賀関，緒方で観察記録がある。

備 考

国際希少野生動植物種，ワシントン条約附属書Ⅰ，国際自然保護連合：危急種。

マナヅル

Grus vipio Pallas

ツル目
GRUIFORMES
ツル科
Gruidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁

選定理由

県内分布

希に全域の平野部に飛来する冬鳥。

分布域

定期的な生息地は鹿児島県出水に約2000羽が冬鳥として生息するのみで，その他は渡りの途中あるいは迷鳥。
中国東北部で繁殖。朝鮮半島，出水，揚子江下流で越冬。

生息環境

開けた耕地，湿地，河原などで越冬する。魚類や穀類，草の根などを採食する。

現 状

県内では，宇佐，玖珠，緒方で観察記録がある。10年に1回程度，渡りの時期に数日間飛来するのみ。

備 考

国際希少野生動植物種，ワシントン条約附属書Ⅰ，国際自然保護連合：危急種

ヒクイナ

Porzana fusca erythrothorax
(Temminck & Schelgel)

ツル目
GRUIFORMES
クイナ科
Rallidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由

小河川や水路のコンクリート化により生息環境が悪化し，生息数が減少している。

県内分布

平地の湿地に生息する夏鳥。

分布域

亜種ヒクイナは北海道，本州，四国，九州で夏鳥。屋久島以南では冬鳥。
奄美以南では亜種リュウキュウヒクイナ(*P.f. phaeopyga*)が留鳥。
朝鮮半島，中国中部，南部で繁殖。東南アジアで留鳥。

生息環境

平地から低山の水田を含む湿地に生息し，草の茂みの中で繁殖する。
水生の魚類，昆虫類，甲殻類のほか，草本の種子などを食べる。

現 状

大分県内でも繁殖している可能性が高いが，草むらの中で生活しているので，姿を見つけにくい。近年，生息環境が悪化し，観察頻度が減少している。